（様式１）

　　　　　　年度　学芸員等在外派遣研修参加申込調書

|  |  |
| --- | --- |
|  都道府県名 |  |
| ふりがな氏　　名 |  | 性　　別 | 男　・　女 | 写 　　　真※裏側に氏名を記入のこと。 |
| 生年月日 | 西暦　　年　　月　　日（昭和・平成　　年）（　 　才） |
| 勤務先名称  |  （国立・公立・私立） （登録・相当・類似） （総合・科学・歴史・美術・野外・動物・植物・動植物・水族） |
| 職　　　名 |  |
| 勤務先 | 〒　　　　　　  TEL　　　（　　） FAX （　　） MAIL |
| 住　　　所 | 〒　　　　　　 TEL　　　（　　） |
| 緊急連絡先 |  TEL　　　（　　） |
| 学　　　歴 | （高校卒業から最終学歴まで） |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 学芸員資格の 有　　　　無 |  ①資格有・資格無（どちらかに○を。資格有の方は以下も記入のこと） ②取得年月日（昭和・平成　　年　　月　　日） ③取得方法　（Ａ大学の課程履修（　　　大学）　Ｂ試験認定合格　Ｃ審査認定又は無試験認定合格） |
|  学芸員以外の所持資格(取得年月日) |   （　　年　　月　　日） （　　年　　月　　日）　※博物館に関係する資格に限る。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 略　　　歴 | 　年　月　日 | 略歴事項 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 専門分野 |  |
|  博物館関係 の業績(著書、論文、 報告書、企 画展等） | （博物館等に勤務した経験年数→　　年　　ヶ月）【平成３１年３月１日現在】 |
| 外国で研修を行う必要性について（研修希望理由） |  |
| 研修希望先（予定）（実施要項２③の特別派遣研修希望者は、会議の名称等を記載） |   ①機関名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） ②所在地（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） ③電話番号（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） ④研修受入研究者の職名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） ⑤研修受入研究者の氏名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

|  |  |
| --- | --- |
| 研修テーマ | （テーマ番号）※実施要項「５研修テーマ」参照（テーマ設定の理由を具体的に書いてください） |
| 研修希望期間 | （西暦）　　　　　　　　　　（西暦）　　　　年　　月　　日　～　　　　年　　月　　日（　　日）　長期・短期・特別 |
| 研修内容及び研修方法 |  |
| 現在の日本の博物館の課題等 | （何故、在外派遣研修を受けなければならないのか、自分が所属する博物館を含めた現在の日本の博物館の問題点・課題等について記入してください。【４００字程度にまとめること。】） |
|  研修成果の 活用方法 | （在外派遣の研修成果が、国の博物館施策や全国の博物館や学会等においてどのように活用され、どのような波及効果が期待できるのか等を具体的に明記すること。【８００字程度にまとめること。】） |

|  |  |
| --- | --- |
| 研修先との連絡状況 | 該当記号を○で囲むこと。また、ｂの方は今後の見通しを具体的に記入のこと。なお、受け入れの内諾がとれていない方は申し込みできません。ａ．文書で受入れの返事あり（当該文書を提出願います）ｂ．文書以外で受入れの返事あり（今後の見通し：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 語学能力の自己評価 | 外　国　語 | 読　み | 書　く | 聞　く | 話　す | 資　格　等 |
| 英　　　語 |  |  |  |  |  |
| ドイツ語 |  |  |  |  |  |
| フランス語 |  |  |  |  |  |
| （　　　　　）研修国の公用語が上記以外のもの |  |  |  |  |  |
| 記号で各欄に記入のこと。Ａ：十分できる　Ｂ：だいたいできる　Ｃ：ほとんどできない |
| 海外渡航歴(職務としての渡航のみ） | 国・都市名 | 期　　　　間 | 目　　　　　的 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 健康状態 | 該当記号を○で囲むこと。 ａ：健　　康　　　ｂ：やや不健康　　　　ｃ：不健康 |
| （既往症） |
| その他（参考事項があれば、記載のこと） |  |
| その他の海外派遣制度について  | 派遣希望の当該年度に、民間機関等が実施するその他の海外派遣制度に現在申請中、又は申請予定がある場合は記入してください。 制度の名称：　実施機関： 派遣期間：　　年　　月　　日　～　　　年　　月　　日選考結果の発表予定日：　　年　　月　　日 |

（様式２）

　　年　　月　　日

　　　年度　学芸員等在外派遣研修計画書

 （研修の日程を自宅からの経路も含めて詳細に記入すること）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　月　日 | 発着地（国　名） | 訪問先 | 滞在日数 | 用　　務 | 備　　考 |
|  | 自宅発○○着○○発自宅着 |  | 総日数 日 |  |  |

（様式３－１）

所　属　長　推　薦　書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　文化庁次長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　所　在　地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属機関名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　役職・氏名　　　　　　　　　　印

　下記の者を　　　年度学芸員等在外派遣研修の研修候補者として推薦します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　 記

（ 役 職 ・ 氏 名 ）

【推薦理由】

※　当該研修生のこれまでの実績、博物館勤務においての特筆すべき事項を列記するなど、当該研修生の推薦理由を記載すること。また、当該研修生の研修後における成果を、国の博物館施策や地域の学芸員等専門職員の研修・職務において活用させ、成果普及できると期待しているのかを具体的に記載すること。

（様式３－２）

団　体　推　薦　書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　文化庁次長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　所　在　地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属団体名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　団体長氏名　　　　　　　　　　　　　印

　下記の者を　　　年度学芸員等在外派遣研修の研修候補者として推薦します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　 記

（ 所属先 ・ 氏 名 ）

【推薦理由】

※　当該研修生の団体におけるこれまでの特筆すべき事項を列記するなど、当該研修生の推薦理由を記載すること。また、当該研修生の研修後における成果について、推薦団体として期待している事を具体的に記載すること。

（様式４）

承　　　諾　　　書

　　　　年　　日　　日

　文化庁次長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　　　　　　　　　印

　　　　　年度　学芸員等在外派遣研修の研修生になることを承諾します。

（様式５）

誓　　　約　　　書

　　年　　日　　日

　文化庁次長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　　　　　　　　　印

　学芸員等在外派遣研修の実施に関する諸規定及び文化庁の指示を遵守し、　　　年度学芸員等在外派遣研修の研修生として責任を持って行動することを誓います。（様式６）

　　　　年度　学芸員等在外派遣研修状況報告書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　文化庁次長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　　　　　　　　　 印

　　　　　年　　月　　日から　　　年　　月　　日までの間（　　か月間）の研修状況について、下記のとおり報告します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　 記

１　研修テーマ

２　研修の概要

３　研修の成果

４　文化庁への連絡事項

５　その他

（様式７）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　　　年度　学芸員等在外派遣研修実施報告書

　文化庁次長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　　　　　　　　 印

　　　　年度学芸員等在外派遣研修の実施結果について、下記のとおり報告します。

１　研修テーマ

２　研修期間　　　　年　　月　　日　～　　　年　　月　　日

３　研修概要

（１）研修先の名称

（２）研修の内容

（３）研修の成果

（４）研修成果の活用計画

（５）その他

※なお、この報告書に関しては、行政雑誌や文化庁のホームページに研修報告として掲載するなど、広く博物館職員等に成果普及しますので、写真などをおりまぜ記載していただくよう、お願い致します。